

(別添資料1)

事業所名

くれよんクラブ（児童発達支援）

支援プログラム

作成日

6 年

4 月

1 日

法人（事業所）理念		「幸せに生きよう」～私たちは、お子さまも、ご家族も、誰もが幸せに生きていくことを願っています～					
支援方針		・それぞれの個性や能力を尊重し一人一人に必要な発達支援を行います。・自発性や意欲、成功体験を大切にし、自己肯定感を培い「生きる」力を育みます。 ・「褒めて育てる」をモットーに、職員の資質向上を図ります・本人やご家族の要望をもとに将来に向けての見通しがもてるように関係機関との連携を図っていきます。					
営業時間		9 時	0 分	17 時	15 分	送迎実施の有無	あり なし
		支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	○健康・生活⇒健康状態の把握(体温測定、送迎時や連絡ノートによる家庭での様子の把握) ○生活リズムの安定(睡眠、食事、排泄、定期的、定時に利用) ○構造化を意識した部屋のレイアウト、掲示、支援(視覚的に「何がどこにあるか」「どこで何をするか」を絵や写真で具体的に表示) ○SST, ABAなどによる身体的、精神的、社会的リハビリテーションの実施○発達に応じた基本的生活スキルの獲得					
	運動・感覚	○姿勢と運動、動作の基本的技能の向上○姿勢保持と運動、動作の補助的手段の活用○音楽に合わせて身体を動かす遊びや運動、リトミック○様々な感覚や感触を経験する遊び○感覚過敏用の方の気持ちを切り替える場所の環境設定や適切な支援○作業療法士による発達の確認○定期的な音楽療法の実施					
	認知・行動	○絵カードや数字などの視覚的支援による、一日の時間の認知形成○遊びや活動を通じて小集団のルールの理解○粘土やスライム、水遊び等による物質の変化と感覚の認知形成○ブロック遊びによる空間把握の認知形成○認知の偏りや状況に応じた適切な行動の習得かつ個別的な配慮○季節感のある課題の実施					
	言語 コミュニケーション	○あいさつや手遊びなどのやり取りで相手に伝わる楽しさや安心を経験し、発語や相手に伝えたいと思う気持ちを育む○簡単なジェスチャーやマカトンの活用○絵カードなど視覚的ツールの活用○ルールなどを絵や絵カードにて提示○人との相互作用によるコミュニケーション能力の獲得○言語聴覚士による発達の確認					
	人間関係 社会性	○アタッチメント(愛着行動)の形成(遊びの中で自尊心を高める、認める、褒める) ○見立て遊び、つもり遊び、ごっこ遊びの組み合わせ○一人遊び、並行遊び、連合的な遊びの組み合わせ○役割分担のある遊びなどの共同遊び○ルールの理解が必要な遊びや小集団活動○苦手なことへの工夫と安心して過ごせる環境の提供○見本になる大人との関係づくり					
家族支援		○親子通園の実施○アタッチメント(愛着) の安定○家族(兄弟を含む)からの相談に対する適切な助言等○障害の特性に配慮した家庭環境の整備○ペアレントトレーニングの実施○心理相談の実施				移行支援	○就園、就学支援。教育委員会との連携○ライフステージの切り替えを見据えた将来的な移行に向けた準備○他の事業所と併用している場合の連携
地域支援・地域連携		○保育所、学校、医療機関、卒園後の福祉関係事業所との情報連携や調整支援方法や環境調整等に関する相談援助等の取り組み○自立支援協議会への参加				職員の質の向上	○強度行動障害支援者養成研修(基礎・実践) 受講○事業所内研修、法人研修、外部研修参加受講○療育、制度、5領域等に係る読み合わせ
主な行事等		5 月 就学説明会 7 月 交通安全教室 12 月 クリスマス週間 毎月 避難訓練					